

新型コロナウイルス感染もお盆後に患者数が増え、新潟県(市)は警戒警報中です。定点観測での感染数は、第8波の半数程度ですが、5類感染症になり自主検査で陽性になっても医療機関に受診する方が少なく、実際は8波のピークを越えていると推測されています。さらに学校の夏休み明けもあり、9月いっぱいには感染が多い状態が続きそうです。当院では他病院よりも患者さんへの面会の制限を厳しく行っていませんが、面会での感染伝播もあり得ますので、当院のルールを守って面会をしてください。また発熱があったり・体調が悪い方は面会を御遠慮くださるようお願いいたします。

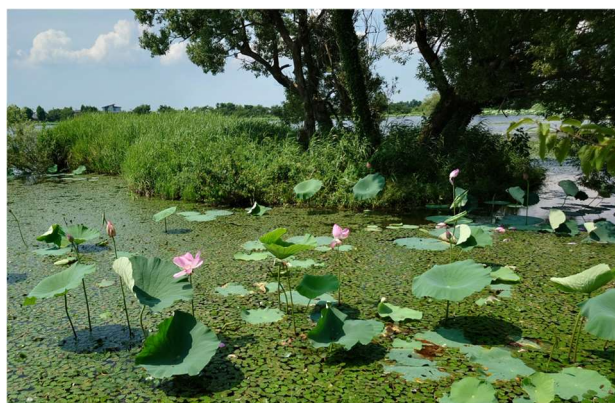
当院では、8月8日から佐藤貴雄循環器内科医師が週4回勤務で就職されました。自己紹介いただきました。

“私はこの8月より非常勤ではありますが、当院の循環器内科で勤務することとなった佐藤貴雄と申します。簡単ではありますが、経歴を述べさせて頂くと2004年に富山大学医学部卒業後、ドイツ、アメリカなどで最新の医学を学んでまいりました。県内では、糸魚川総合病院や立川総合病院で勤務をしていたことがあります。当院には新潟大学から、火、木曜日に非常勤ではありますが、循環器医師が派遣されており。しかしながら、月、水、金曜は循環器外来がなく、循環器系の不安を抱えられた患者様には大変ご迷惑をおかけしておりました。しかしながら、今回、私は、木曜日を除き、毎日循環器外来を開く方針と致しました。これにより、切れ目のない循環器治療を皆様にご提供できるようになるのではと考えております。大学から派遣されています循環器医師とも協力して、循環器系に不安を抱えている患者様のお力になりたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い致します。”

9月1日から山田麻理奈医師が産休に入られましたが、同日より、現在、新発田にある北越病

院の病院長をされていた佐藤良智医師が一般内科医師として当院に就職されました。基本的に山田医師の外来業務を引き継いでいただく予定です。自己紹介いただきました。

9月から、豊栄病院のお仲間に加えていただいた、内科医師、佐藤良智です。産休の山田麻理奈先生のお仕事を、引き継ぐことになりました。どうぞ、よろしくお願いします。山形県立中央病院の研修医として、医師生活をスタートしました。その後、当時の新潟大学医学部「胸部外科」教室(現在の第二外科)に入局し、心臓血管外科・呼吸器外科を専門としました。そして、長岡赤十字病院「胸部・心臓血管外科」部長を20年務め、2003年、大学同期であった北越病院理事長に請われ、同院の院長に就任。今年8月末、北越病院を退職し、内科医としてリニューアルするつもりで、当院に赴任しました。私たちの世代の医師は、「内科が王道」と教え込まれています。長い間、まわり道を歩んできた「元研修医」として、お付き合い頂きたいと願っています。(出身は、山形県鶴岡市。近くて遠い故郷です。)



この6月22日から毎週木曜日に当院に勤務いただいていた遠藤栄一内科医師は、8月12日他病院勤務中にくも膜下出血を発症し、ICUで治療を受けましたが、8月14日未明、お亡くなりになったということです。60歳でいらっしゃいました。ご冥福を祈るのみです。(写真は瓢湖)

発行責任者・文責：豊栄病院病院長 宮島 透